



▲ねえ、ママと一緒に遊ぼうよ！（1月10日、乳幼児相談）

出産 応援

1 赤ちゃん誕生応援事業

～元気な赤ちゃんの
出産を応援します！

お母さんの健康とお子さんの健全な成長と出産を応援するために、妊婦健康診査費の助成を拡大する「赤ちゃん誕生応援事業」を創設しました。

妊娠してから出産するまで、14回程度の健康診査を受けることになります。平成18年度までは、出産まで2回、約1万4千円の助成でしたが、平成19年度からは1回の健康診査につき3,500円の助成が8回加わり、合計10回、約4万2千円の助成が受けられるようになりました。

これにより、出産までの健康診査を確実に受診することで、安心して母子共に健康な出産ができるよう応援しています。



▲母子手帳と一緒に交付される「助成券つづり」

Interview

1月10日、健康センターで行われた乳幼児相談に来たお母さんたちに話を聞きました。



さいとう ますみ
●齋藤真澄さん—東大畑—(山形県出身)

2人目の子どもが今年の6月に生まれます。5カ月目に入ると利用できるということで、私はこれから利用することになりますが、大変助かります。



さたけ ちか
●佐竹千香さん—八幡町—(福島県出身)

2人目の出産では、8回の健康診査で助成を利用しました。1人目の子どもの出産では2回でしたが、1回の健康診査で5千円ぐらいかかるのでとてもありがたいです。



たかはし しほ
●高橋志保さん—東町—(岩手県出身)

健康診査の受診間隔が2週間おきになった時、受診条件が一致せず利用できないことがありました。でも、健康診査の助成が増えたことは助かりました。

●12月までの利用実績

母子手帳交付者：212人（前年比+7）
延べ利用回数：1,858回



▲親子で楽しくおしゃべりも！



▲よしよし、眠いかな？ お姉ちゃんもママと一緒に赤ちゃんを優しく抱っこ！

4万人都市復活大作戦

～皆さんの子育てを応援します～

市政運営の基本的な考え方である施政方針。平成19年度から「4万人都市復活大作戦」と名付けて、「市民と行政のパートナリシップによるくらし日本一のまちづくり」を目指しています。

これは、減少し続ける人口を何とか増加させて市勢に活力を与えるために、4つの施策体系を定め、その頭文字を「し・ろ・い・し」とし、内外に白石市をアピールしようというものです。

今月号では、「4万人都市復活大作戦」の4つの施策の1つである「安心して子育てできるまちづくり」の取り組みを振り返りながら、子育て支援の状況をお伝えします。

平成19年度施政方針～くらし日本一のまちづくり～ 4万人都市復活大作戦

戦略その1 しあわせあふれるやさしいまち しろいし

【テーマ】安心して子育てできるまちづくり
【主な事業】赤ちゃん誕生応援事業、誕生祝い金の贈呈、延長・休日保育の実施、福祉の郷事業の推進、市民バスの運行、南中学校建設など

戦略その2 まんだよう城下町 しろいし

【テーマ】歴史と文化の香るまちづくり
【主な事業】やる気応援事業、きらめき推進事業、姉妹都市との交流事業、生涯学習フェスティバルの開催など

戦略その3 いきいきとびゆくまち しろいし

【テーマ】活気にぎわいのあるまちづくり
【主な事業】定住促進奨励金の交付、企業誘致の促進、宮城DCへの参画、白石藩倶楽部、地域農業いきいき推進事業など

戦略その4 んらいとやすらぎのあるまち しろいし

【テーマ】安全・安心なまちづくり
【主な事業】安心メールの充実、しろいしエコプロジェクトの推進、合併処理浄化槽の普及、公共下水道事業、農業集落排水事業、沖の沢郡山線、公共下水道事業(雨水)の整備など